

第六十三集【紀伊山脈】刊行記念俳句大会

当日句の部 各賞受賞者一覧

期 日 平成二十八年十月十六日
場 所 ビック愛・12F (大会議場)

賞	作品	住所	作者名
和歌山県知事賞	ラムネ飲む青年となる喉仏	かつらぎ町	市川 晴茂
和歌山市市長賞	刈り終へて残る鉄塔天高し	和歌山市	北野恵美子
和歌山文化協会会長賞	鴟猛る無人駅舎の手配書	海南市	澤 禎宜
和歌山俳句作家協会会長賞	残る蚊に心のすきを刺されけり	紀の川市	宇恵 孝子
NHK和歌山放送局長賞	成せばなる余生まだまだ帰り花	紀の川市	桂 珠明代
和歌山放送局賞	逃げやすき山家の日ざし木守柿	和歌山市	辻 多恵
読売新聞社賞	案山子立つ夫の形見の野良着着て	和歌山市	田嶋 節子
毎日新聞社賞	秋天の鳶ゆつくりと点となる	和歌山市	武友 朋子
産経新聞社賞	大河より来て水槽の熱帯魚	和歌山市	橋本 栄夫
朝日新聞社賞	松手入夕日残して終はりけり	海南市	前田 長徳
ニュース和歌山賞	ゆつくりと雲が流れて柿の秋	和歌山市	島 慶子
わかやま新報社賞	颱風にことよせて聞く子の暮し	かつらぎ町	野口 城

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	秀逸句
						神木に鎌打ちこまれそぞろ寒	絵手紙の野菜はみ出す残暑かな	痩せ馬のあはれ祭にかり出され	秋高し空を一呑み獅子の口	柿日和生家に今も文机	小鳥来る眼ゆるみし鬼瓦	虫の音を闇に戻して竹燈夜	十キロの鯉にどよめく放生会	ふくよかな子ばかり峡の秋祭	秋の蛇泳ぎきつたる水繋る	作品
						岩出市	和歌山市	田辺市	和歌山市	和歌山市	和歌山市	和歌山市	広川町	津山市	田辺市	住所
						吉益 宜子	児玉 啓子	大野 良子	上野美紗代	中筋のぶ子	福本 秀昭	長田千恵子	梅本比佐子	岡田 邦男	吉田 捷子	作者名